

図書館だより 9月号

令和7年 9月 1日発行
王滝村教育委員会
村民図書館
TEL:48-2134

図書館利用時間:平日(開校日)午前9時～午後4時

9月の「読書会」は 9月11日(木)13時30分からです。



『夜空にひらく』

著者:いとう みく

図書館利用の基本について、再度、確認です。

一、図書館への入り口は、次の二か所です。

・学校正面玄関、または、

・コミュニティルーム(まほろば入口)

どちらから入れます。直接、そのまま

図書館へお進みください。

二、小学校の開校日、午前九時から午後四時

まで、自由にご利用いただけます。

三、村民が本を借りるには、最初に、「登録」

をしてください。無料です。

四、司書がいなくても「登録」してあれば、

貸出、返却とも一人で行えます。

五、読みたい本が図書館にない場合、リクエ

ストすることができます。

卒業生の皆さんも、どうぞ、お気軽にお立

ち寄りください。あの頃の「自分」に出会え

る懐かしい本、あるいは、今の自分にピタ

リの本が見つかるかもしれません。

それでは「今月の本」をご紹介します。

『夜空にひらく』あらすじ

複雑な家庭環境で育ち、人を信じることができなかつた十七歳の少年が暴力沙汰を起こし試験観察となる。その補導委託先は煙火店(花火屋)を営む家である。その花火屋の家族や職人さんとかかわって行く中で自分も花火職人になりたいと思い始め、少年の心が少しずつ変わって行く。

感想

正しいことと、そうでないことをきちんと見極めようとする少年の芯の強さが伝わってくる魅力的な作品です。花火についても本を通して知ることがたくさんありました。一つの花火ができるまで二か月以上、そして、打ち上げにたったの六秒だそうです。

今年の王滝村のお祭りで、夜空にひらく花火を眺めて、何だか、とてもありがたい気持ちになりました。今後、花火を見たら、必ずこの本を思い出すことでしょう。本の中で印象に残った言葉がこれです。

「一人で生きているやつなんていないぞ」

七月、長野県製薬(株)の百草工場を見学しました。小一時間、説明を受けたりビデオを見たり、実際の見学をしたりと有意義な日でした。以下、参加者からのひと口コメントです。

- ・丸薬と板薬の成分がかなり違うものであることに驚きました。
- ・我が家の庭には、たくさん「毒草」があることを知りました。
- ・原料を今は輸入に頼っていることがちょっと残念かな…。
- ・百草丸が「炭」でコーティングされていることに感動です。悪いものも吸着してくれるよね。
- ・薬草が欠かせなかったという昔の王滝村での暮らしに思いをはせました。

新刊本案内

リクエスト本

絵本『ねこのようしょくやさん』『ねこのすしやさん』作・絵: KORIRI

仕掛けの面白い本

『COLOURS めくってびっくり! 色いろへんしん』著者: パトリック・ジョージ

サイン本(本物のサインが付いています)

『ベルナルさんのぼうし』『イソップ物語』『チャッピーの家』作・絵: 今井あやの

文庫本

『山に抱かれた家』著者: はらだみずき

📖どれもおもしろい本です。一度、手に取ってご覧ください。